

京都府感染症情報センターからの最新情報

(2025 年第 8 週 : 令和 7 年 2 月 17 日～令和 7 年 2 月 23 日) No. 660

京都小児重症患者診療情報システム管理部 長村敏生

今週のコメント : 2025 年第 8 週の報告です。

感染性胃腸炎が少しずつ増加を続けています。京都市**南区**では 20.00 に増え、**警報レベル**になりました。山城北の**咽頭結膜熱**・京都市右京区の**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**・京都市**南区**の**伝染性紅斑**は引き続き**警報レベル**です。そのほか、**水痘**は乙訓でと流行発生注意報の基準値。

眼科定点は**流行性角結膜炎**が 3 件、基幹定点は**マイコプラズマ肺炎**が 6 件・**クラミジア肺炎**が 1 件報告されました。

全数報告対象疾患は、**結核**が 6 件、**E 型肝炎**と**アメーバ赤痢**はそれぞれ 1 件、**侵襲性肺炎球菌感染症**と**梅毒**はそれぞれ 3 件、**百日咳**は 6 件報告されました。

感染性胃腸炎の京都府の定点当たりの疾患数は 6.78 と昨年の最多 (6.42, 第 21 週) を上回りました。感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌が原因で嘔吐や下痢、腹痛などを引き起こす病気です。今の時期は、ノロウイルスやロタウイルスなどによるウイルス性胃腸炎が多く見られます。感染を防ぐためには、食事の前やトイレの後などにこまめで丁寧な手洗いをするのが大切です。食品の十分な加熱 (85 度～90 度で 90 秒以上) や調理器具の衛生管理も重要です。どちらのウイルスもアルコール消毒の効果は薄いとされていますので、家庭内で感染者が出た場合、嘔吐物や便の処理は手袋やマスクを着用し、次亜塩素酸ナトリウム (家庭用漂白剤) で消毒してください。感染した場合は水分補給をこまめに行い、脱水を防ぎましょう。ウイルス性胃腸炎の場合は特異的な治療法はなく、症状に応じて整腸剤や制吐剤、水分補給目的の点滴などの対処療法がおこなわれます。特に乳幼児や高齢者では脱水症が懸念されますので、飲んでも吐いてしまうなどの状態が続く場合は早めに医療機関を受診してください。なお、乳幼児を中心に流行するロタウイルスに対しては予防のためのワクチンがあります (2020 年 10 月から定期接種)。生後 15 週以降の初回接種は、安全性の観点から推奨されていないため、接種を検討している方はそれまでに受けましょう。

ノロウイルスについてより詳しく知りたい方はこちらのページもご覧ください。

- ・ [これだけは知っておきたいノロウイルス感染症の知識 | 京都府](#)
- ・ [感染性胃腸炎 \(特にノロウイルス\) について | 厚生労働省](#)

京都府感染症情報センターホームページのアドレス : <http://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

注意 : 上記の下線部分の内容をご覧ください。パソコンの「Ctrl ボタン」を押しながら [青文字下線部分](#) をクリックしていただきますと、閲覧することができます。

最新の府内の発生状況（2025年第08週）

全数把握疾患

分類	報告
1類感染症	報告がありません
2類感染症	結核が6件報告されました
3類感染症	報告がありません
4類感染症	E型肝炎が1件報告されました
5類感染症	アメーバ赤痢が1件、侵袭性肺炎球菌感染症と梅毒が各3件、百日咳が6件報告されました
全数報告一覧へ	

基幹定点 マイコプラズマ肺炎が6件、クラミジア肺炎が1件報告されました

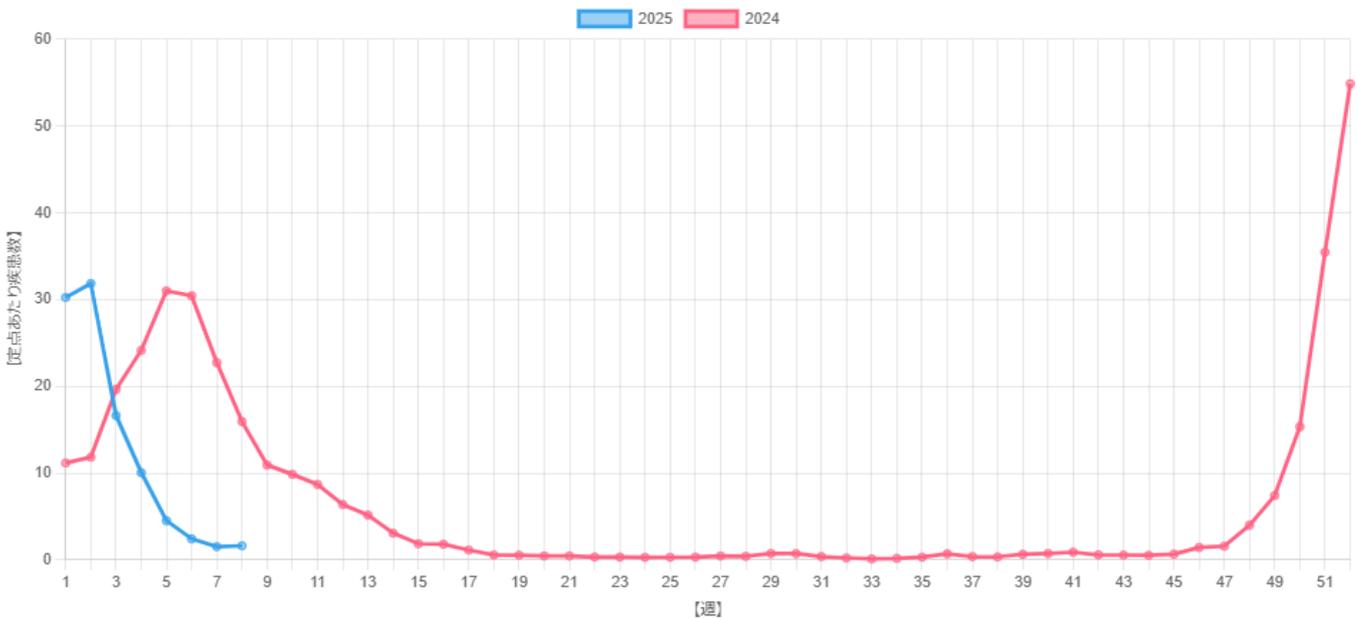
眼科定点 流行性角結膜炎が3件報告されました

定点把握疾患

疾患名	定点当たり報告数	前週比	注意報・警報
インフルエンザ	1.61	↑	
COVID-19	3.57	↓	
R S ウイルス感染症	1.01	↓	
咽頭結膜熱	0.49	↓	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.65	↑	
感染性胃腸炎	6.78	↑	
水痘	0.18	↑	
手足口病	0.03	↓	
伝染性紅斑	0.47	↑	
突発性発しん	0.19	↑	
ヘルパンギーナ	0	↓	
流行性耳下腺炎	0	↓	
急性出血性結膜炎	0	→	
流行性角結膜炎	0.18	↓	

インフルエンザ：前報（第7週）で京都府の警報は解除されましたが、今週は報告数が増加しています。

インフルエンザ



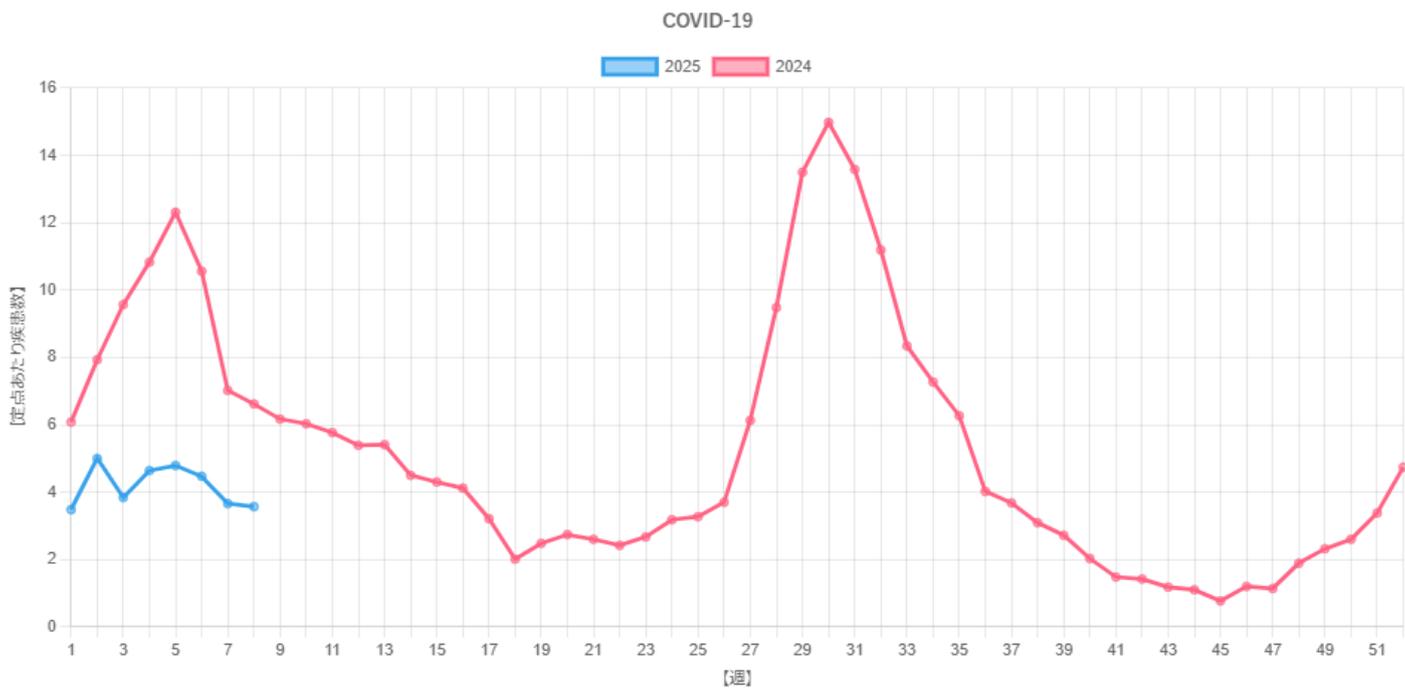
基幹定点からのマイコプラズマ肺炎の報告件数の推移

- 2024年第44週:令和6年10月28日～令和6年11月3日: 21件
- 2024年第45週:令和6年11月4日～令和6年11月10日: 30件
- 2024年第46週:令和6年11月11日～令和6年11月17日: 33件
- 2024年第47週:令和6年11月18日～令和6年11月24日: 22件
- 2024年第48週:令和6年11月25日～令和6年12月1日: 16件
- 2024年第49週:令和6年12月2日～令和6年12月8日: 15件
- 2024年第50週:令和6年12月9日～令和6年12月15日: 18件
- 2024年第51週:令和6年12月16日～令和6年12月22日: 11件
- 2024年第52週:令和6年12月23日～令和6年12月29日: 10件
- 2025年第1週:令和6年12月30日～令和7年1月5日: 6件
- 2025年第2週:令和7年1月6日～令和7年1月12日: 10件
- 2025年第3週:令和7年1月13日～令和7年1月19日: 12件
- 2025年第4週:令和7年1月20日～令和7年1月26日: 2件
- 2025年第5週:令和7年1月27日～令和7年2月2日: 9件
- 2025年第6週:令和7年2月3日～令和7年2月9日: 2件
- 2025年第7週:令和7年2月10日～令和7年2月16日: 3件
- 2025年第8週:令和7年2月17日～令和7年2月23日: 6件

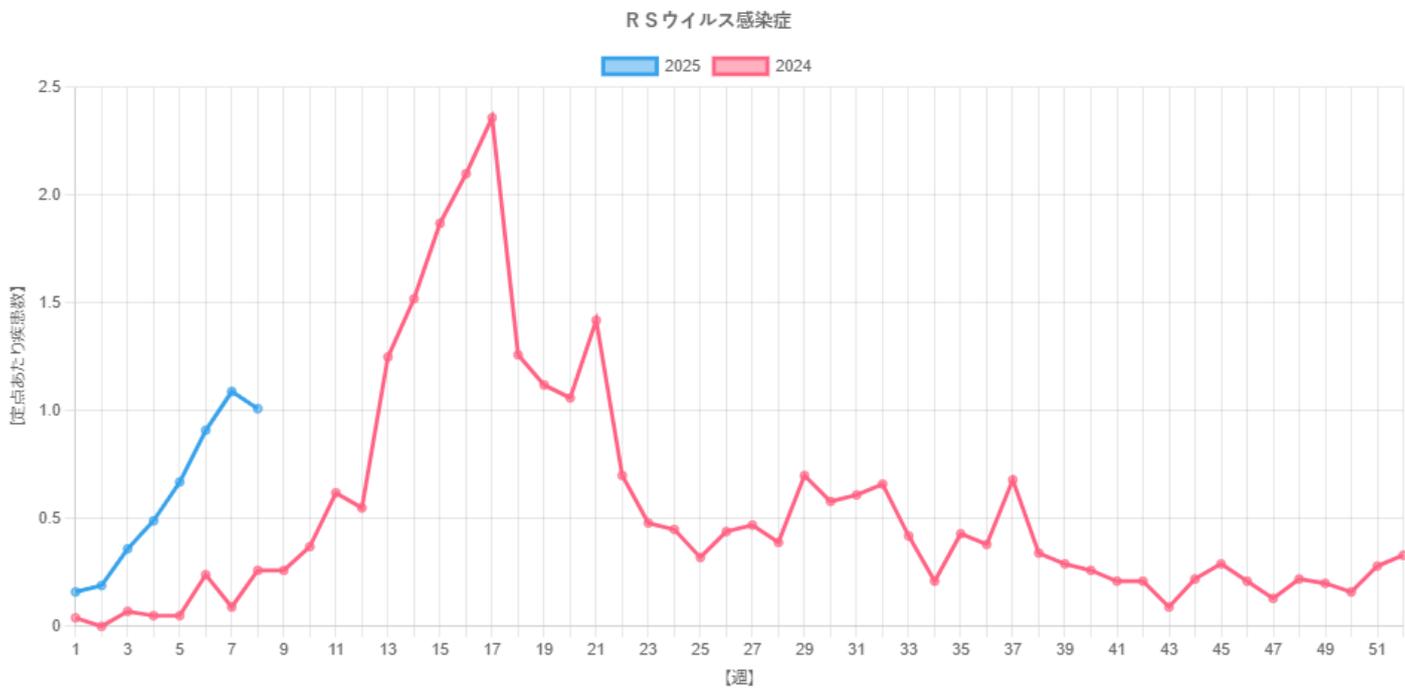
⇒ マイコプラズマ肺炎の報告件数は減少傾向にはありますが、変動しつつもなお報告があります。



COVID-19 : 2024 年に比べると少ないものの、なお報告数は横ばいです。



RSウイルス感染症 : 2024 年に比べると増加傾向にあります。



咽頭結膜熱：今週も山城北で**警報レベル**が継続しています。

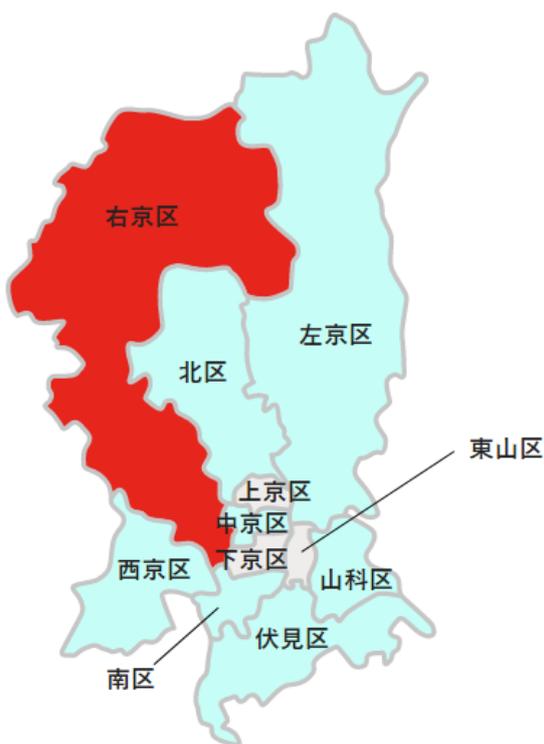
京都府全域



	罹患数	定点当たり
乙訓	7	1.75
山城北	17	2.13
山城南	4	1
南丹	1	0.2
中丹西	1	0.33
中丹東	1	0.25
丹後	-	-

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週も京都市右京区で**警報レベル**が継続しています。

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	1	0.25
上京	-	-
左京	8	2
中京	3	1
東山	-	-
山科	3	0.6
下京	-	-
南	8	2
右京	28	5.6
伏見	4	0.8
西京	6	1.2

伝染性紅斑：今週も京都市南区で**警報レベル**が継続しています。

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	-	-
上京	-	-
左京	-	-
中京	1	0.33
東山	-	-
山科	-	-
下京	-	-
南	9	2.25
右京	4	0.8
伏見	2	0.4
西京	1	0.2

感染性胃腸炎：京都市南区で**警報レベル**になりました。

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	10	2.5
上京	-	-
左京	22	5.5
中京	14	4.67
東山	15	7.5
山科	25	5
下京	-	-
南	80	20
右京	43	8.6
伏見	74	14.8
西京	34	6.8